

自分と
向き合うことから
はじめてみよう



SUPPORT.1

就活生を万全の協力体制でバックアップ「就職支援プログラム」

多彩なガイダンスと実践講座

1回生から各種の就職活動準備講座やガイダンスを開催。筆記試験対策や面接試験対策、ビジネスマナーなど実践的な講座を繰り返し行っています。また、企業の人事担当者を招いて業界別講演会や学内合同企業説明会なども実施しています。

就活オリターが低回生を支援

4回生就職内定者が就活オリターとなって、就職ガイダンスやキャリア系科目において低回生に体験談を話しています。また「何でも相談コーナー」を定期的に行っています。不安や疑問などを気軽に解消できる機会を設けています。

キャリアアドバイザーによる個別指導

3回生になると、志望業界や進路先に応じてキャリアセンターの担当アドバイザーに自由に決めることができます。大手民間企業の人事部門で経験を積んだアドバイザーの的確な助言・指導を多くの学生が受けています。

懇談会等で教職員と父母が連携

大学と家庭が連携して就職支援を行うために、本学では毎年父母の会総会や、地区別懇談会の場で「就職懇談会」を開催しています。就職 活動状況の報告、子どもとの接し方など、幅広く情報交換や共有を行い、総合的に学生を支援します。

SUPPORT.2

さまざまな学生との交流から学ぶ「他大学合同企画」

人事担当者と模擬採用試験「就活theリアル」

関西圏の大学生と19社の企業人事担当者による模擬採用試験イベントを開催。グループディスカッションや模擬面接など内定獲得までの一連の流れを体験したり、多くの人事担当者と交流できる貴重な機会になっています。



低回生のための「CAREER FOREST」

低回生向けの早期キャリア教育イベントです。本学を含めた関西8大学の1・2回生を対象に、社会や仕事の理解を通して視野を広げ、自分のキャリアを自ら考え、行動できる力を育てることが目的。大手企業が多数参加します。



PICK UP

地方自治体と連携！U・ターン就職支援を強化

地元へのUターン就職、地元外へのIターン就職を希望する学生を強力にサポート。各都道府県及び市町村と就職協定の締結・連携を進めています。

就職協定・連携を結んでいる自治体

協定県 長野・島根・滋賀・石川・群馬・(府) 愛媛・和歌山・福岡・新潟・岐阜・鳥取・京都・愛知・三重・福井

連携県 静岡・富山・高知・広島・香川・(市) 岡山・山口・徳島・京都府綾部市

(締結日順)



学生部長
看護学部 看護学科
梶合 佳子 教授

限られた時間の中で、一人でいろいろと悩むよりも、キャリアセンターの力を借りることで、より効果的に前に進むことができます。確実に自らの歩みを進めるための一歩として、キャリアセンターを訪ねてください。

**充実のキャリアサポートで
ホップ・ステップ・ジャンプ**

学生時代は、専門分野や一般教養の学びに並行して自らのキャリアの模索が求められます。自分とはどのようなことに興味・関心をもっているのか、どのような分野で力を発揮できるのか、自身の強みは何かなどを模索します。

キャリアセンターでは、低回生からのキャリア教育プログラムや就職支援プログラムを準備しています。単位認定型インターンシップでは、学生は職場でのリアルな体験を通して、多くの学びを得ています。そして、他大学の学生と交流しながら行われるプログラムでは、同じ立場の学生同士で情報交換ができ、有意義な体験をしています。また、過去のデータ集積による学生個々の特性に応じた相談やアドバイスを受けることができます。

京都橘大学の充実のキャリアサポート

進路実現へのミチシルベ

京都橘大学では学生一人ひとりが希望する進路を実現できるよう、細やかなキャリア教育を展開しています。

CAREER PROGRAM

		1回生	2回生	3回生	4回生
共通教育科目		基礎教育科目・教養教育科目・キャリア教育科目			
めざす業界別の主な就職サポート	一般企業・公務員	キャリア形成型プログラム			
		インターンシップ			
	難関チャレンジプログラム				
	業界・企業職種研究、試験・面接対策				
	たちばなアカデミー				
	たちばなアカデミー	公務員試験対策			
教員	児童教育学科	たちばなアカデミー	数学・TOEIC・SPI・採用試験・面接対策		
			保育・幼稚園・小学校実習		たちばな塾
	その他の学部・学科			TOEIC・採用試験対策	たちばな塾
			介護等体験参加	教育実習	
医療系	医療系学科		国家試験・公務員試験対策		
		各学科独自のプログラム			

キャリア形成プログラム

社会人として必要な教養やコミュニケーション能力などを、1回生から段階的に養成。基礎・教養教育から具体的な希望に基づいたキャリア教育、インターンシップまで充実した内容になっています。卒業時には、実社会で通用する高度な問題解決力、情報収集力、論理的思考力などが身につくようにサポートしています。

たちばなアカデミー

就職活動で希望の進路をつかむために、就職活動に向けて社会人基礎力を身につける1回生独自の対策講座です。民間企業や公務員など、就職支援全般に必要な不可欠な知識の基礎について学習していきます。その後、2回生、3回生では公務員や教職対策講座へと広がり、幅広い進路に導くプログラムとなっていきます。

各学科独自のプログラム

全学部共通の基礎的な共通科目が履修可能です。さらに専門性の高い資格、職種をめざす学生を支えるために、看護学部と健康科学部では各学科独自の支援プログラムを展開しています。基礎的能力の育成から国家試験対策まで、それぞれの専門性の高い職種やキャリアデザインに応じたサポートを充実させています。

難関チャレンジプログラム

留学生との交流や海外体験プログラム、海外インターンシップなどの異文化体験を積極的に行っています。現地(英語圏・アジア圏等)での企業見学・体験はもちろん、国内でもさまざまなプログラムでグローバル企業への就職をサポートしています。また、採用選考における最重要項目であるSPI試験や筆記試験の対策も行っています。

郷里・静岡市での就職をめざして就活を行いました。就活中は、積極的に説明会やインターシップに参加しました。静岡に住んでいる大阪との往復や、大学の勉強との両立などで大変な時期もありましたが、スケジュールをしっかり立てて気持ちにメリハリをつけることで、乗り切りました。また、家族に話したり、友人に相談したり情報交換することで、リラックスできたり、自分の考えを整理することができました。

自己分析では、家族や友人を通して自分の長所を知ることができました。特に両親から「あなたは人に愛される」といわれたことで自信がつき、不向きだと思っていた営業職にも興味を持ちました。

就職後は、お客様から信頼され、愛される存在になりたいです。経験を重ねていき、将来は人事の仕事に就き、就活を頑張る学生に自社の魅力を伝えていきたいと思っています。

気持ちの切り替えが大切



【内定先】
日本生命保険 相互会社
花井 妙弥さん
文学部
歴史学科 4回生
①4回 ②15社 ③5社 ④4社

Message

不安も悩みも希望も喜びも、すべてが力になってゆく

内定者に聞く 就職活動

先輩たちはどのような準備をして就職活動に臨んだのでしょうか。大学の就職支援をどのように活用したのでしょうか。希望の就職先に内定した先輩たちからのメッセージをお届けします。

①合同説明会に参加した回数 ②Webエントリー数 ③企業説明会に参加した社数 ④ESを提出した社数

就活で新しい自分を知る

私は、「活動的な自分の個性を活かせる企業」を、就職先選びの軸にしていました。業界は絞らず、興味を持った企業は四季報やインターネットで情報を得たうえで、企業説明会に参加することで、働くイメージが持てました。当初は会社の規模や休日、給与などの条件に目がいきがちでした。しかし、実際に会社を訪問すると、会社の雰囲気やそこで働く人たちに惹かれていく自分に気づきました。マイナビを志望したのは、「マイナビのネームバリューでは契約はとれない。あなたの頑張り次第」という人事の方の言葉に、やりがいを感じたからです。そして、この会社でキャリアアップした10年後の自分を想像することができたからです。

就活を通して、新しい自分に気づけたり、多くの人との出会いから新しい価値観に触れることができました。皆さんにも就活することを楽しんでもらいたいと思います。



【内定先】
株式会社 マイナビ
川島 康平さん
現代ビジネス学部
経営学科 4回生
①6回 ②25社 ③15社 ④15社

面接は笑顔と早めの対策

金融業界に興味があり、同業他社のインターシップや説明会に参加しました。中でも地元京都の地域創生に尽力する京都銀行に魅力を感じ、志望しました。

SPI試験や面接、グループディスカッションの対策は、キャリアセンターで行いました。いずれも早くから取り組んでいたため、しっかりと練習ができ、本番でも自然体で臨めました。面接では、笑顔で、はっきりと話すことを意識し、話す内容を丸暗記せずキーワードで覚えるようにしていました。要点を踏まえて自分の言葉で話すことが大切だと思います。就活は縁だと思えます。選考に進めなくても落ち込まず、それをバネにして頑張つてほしいです。

就活は、自分のペースで、あきらめずにやり切ろうと心に決めていました。焦らず、後悔しないように取り組めば、結果はついてくると思います。



【内定先】
株式会社 京都銀行
小河 優衣さん
現代ビジネス学部
経営学科 4回生
①6回 ②20社 ③20社 ④12社

部活での頑張り強みに

村田製作所を志望したのは、モノづくりの最前線で働きたいと思ったこと、そして、人事担当者をはじめとした社員の方々の人柄に惹かれたからです。製品への誇りや社会の役に立つ喜びについて熱心にお話しただき感動しました。私も同じ喜びを味わいたいと思っています。

就活中は、学業や部活との両立に苦労することもありました。けれども、弓道部の主将として部をまとめてきたことが自分の強みとなり、就活のスケジュール管理や積極的な行動につながりました。選考試験で大変だったのは、筆記試験対策でした。問題集をひたすら解いたり、キャリアセンターのガイダンスにも参加して対策をしました。

部活や勉強を頑張っている人は、就活に対して焦りを感じることもあるかもしれません。でも、それを強みや自信に変えて、積極的に動くことが大切だと思います。



【内定先】
株式会社 村田製作所
大芝 冬華さん
現代ビジネス学部
経営学科 4回生
①3回 ②13社 ③16社 ④4社



【内定先】
株式会社 三井不動産
ホテルマネジメント
平井 彰馬さん
現代ビジネス学部
経営学科 4回生
①3回 ②30社 ③4社 ④4社

責任感と向上心を活かす

就活を始めた当初、不安を感じていましたが、キャリアガイダンスを受講したことで意識が変わりました。初めに取っかかりが自分分析で、私には責任感や向上心があると気づき、エントリーシートを作成しました。キャリアセンターでは、自己分析に関するアドバイスはもちろん、相手の心に残る自己PRの書き方から面接での所作まで、しっかりと教えてもらいました。常にポジティブに就活と向き合うことができ、面接でも自信を持って臨むことができました。

就職後は、ホテルのフロント業務を務める予定です。ホテルやお客様にとって、なくてはならないホテルマンになりたいです。そのためには、丁寧な接客と外国語にも対応できる語学力の向上など、さまざまな面で学び、スキルアップしていかなければなりません。責任感と向上心を持って全力で取り組んでいきたいと思っています。



【内定先】
株式会社 ディアーズ・ブレイン
宮本 龍輝さん
文学部
歴史学科 4回生
①2回 ②17社 ③15社 ④17社

徹底した分析で自分に自信
就活を本格的に始めたのは3回生の夏頃です。当初は業界を問わずインターンシップに多数参加して、企業や就活の雰囲気をつかむようにしました。同時に自己分析にも力を入れる中で、人の悩みや課題を一緒に解決していく仕事に就きたいと考えようになり、ブライダル業界と人材派遣業界の2つに絞りました。その後、インターンシップや企業説明会を通して、自分の仕事が生の思い出としてお客様に残るブライダル事業にやりがいを感じ、ディアーズ・ブレインを志望しました。
企業研究では、同業他社に足を運び、企業間の違いを徹底して分析しました。また、社員の方に積極的に話しかけて自社の強みや魅力を聴きました。そうすることで、社風が自分に合っているかどうかを見極められただけでなく、面接にも自信を持って臨むことができました。



【内定先】
中部国際空港
旅客サービス 株式会社
宮本 まどかさん
健康科学部
心理学科 4回生
①2回 ②15社 ③8社 ④10社

企業研究でやりたい仕事が明確に
就活当初は、具体的に何から始めればいいのか分からず、キャリアセンターを訪ねました。まずは、自分を知ることが大切とのアドバイスももらい、友人などから聞いた私の長所や短所をまとめました。また、企業研究では、旅行や空港・航空会社を中心に、企業説明会などで見聞きした企業理念や強み、いいなと感じたことなどを書き出して一覧にしました。そうすることで各社の違いが明確になり、自分のしたい仕事とその企業にあるのかわかるようになりました。面接試験の対策では、キャリアセンター主催のイベントに参加し、実際の企業の人事担当者との模擬面接を数多くこなすことで、緊張せず話せるようになりました。本番でも飾らず、素直に自分の言葉で想いを伝えることができました。全力で駆け抜けた就活でした。今は満足感でいっぱいです。就職してから何事にも生懸命に、楽しんで取り組んでいきたいです。

行動することで大きく成長
もともとは就職志望だったのですが、3回生になり、民間企業への就職に変更しました。企業で働くイメージがでなかったこともあり、本格的に就活に入る前に何かをしようと思いい、在学生の就活をサポートするキャリアメイトの活動に参加しました。それと並行して、インターンシップや合同説明会の参加をし、「人と関わる仕事」を軸に自分が働きたいと思える企業を見つけることから始めました。
選考が始まると、面接でうまく伝えられないことが多く悩んでいました。心配性なこともあり、全部の答えを考えて臨んでいたことで、かえって壁をつくり私自身を見えなくしていたためでした。それに気づいてからは、要点だけをおさえ、私らしく素直に気持ちを伝えられるようになりました。
就活で自分自身を知ることができました。そして、就活は今の自分と社会にできるまでの間をうめていく時間だと思えました。



【内定先】
株式会社 京阪流通システムズ
入澤 いずみさん
文学部
日本語日文学科 4回生
①17回 ②25社 ③14社 ④5社

海外勤務を視野に
就活で最も力を入れたのは、企業研究です。メーカーの営業職をめざすと決めてからは、志望するメーカーの製品がどのように販売されているか、店舗に足を運び調べました。実際の売り場での商品展開の仕方を見たり店舗の方にお話を聞くなどして、営業としての視点から現状を知るようになりました。また、消費者側の視点も大事と考え、実際に製品を自分で使用することで、魅力や課題を探りました。これらの経験を踏まえて自分なりの考えを面接で話せたことが高い評価につながったのだと思います。将来は海外での勤務も視野に入れ、現在は英会話の勉強も頑張っています。



【内定先】
ジョンソン 株式会社
馬淵 実優さん
現代ビジネス学部
都市環境デザイン学科 4回生
①2回 ②50社 ③25社 ④19社

本当にしたい仕事を軸に就活
モノづくりに興味があり、インテリアメーカーに絞って就活を進めました。カリモク家具を志望したのは、製造する家具の使いやすさやデザインの良さ、企業姿勢に共感したからです。面接では、カリモク家具への熱い想いを自分の言葉で伝えることを心がけました。この気持ちを、今度はお客様に伝えていきたいと思っています。
就活中はキャリアセンターの存在が、とても大きな助けになりました。志望業界のさまざまな情報を提供してくれたことはもちろん、面接練習や履歴書の添削など、親身になってアドバイスをくださったので、自信を持って就活をすることができました。
私は就活を始める際、自分が本当にしたい仕事は何なのかを考えました。それがモノづくりであり、家具であると答えを出してからは、そこからブレずに突き進みました。妥協することなく、満足のいく就活ができたと思っています。



【内定先】
カリモク家具 株式会社
西森 稜祐さん
現代ビジネス学部
都市環境デザイン学科 4回生
①1回 ②7社 ③4社 ④2社

インターンシップで視野を広げる
内定先のエスベックは、世界的な環境試験器のメーカーで、工業製品の開発に欠かせない分野を担っている企業です。大学が関西圏の11大学と共催する就活イベントで人事の方とお話をし、その魅力を知り、第一志望になりました。
就活では、インターンシップや企業説明会に積極的に参加しました。大学の単位認定型のインターンシップを含めて業界を問わず、十数社を経験しました。視野が広がっただけでなく、他大学の学生と知り合う機会にもなり、たくさんの刺激をもらいました。面接では、インターンシップでの経験や、陸上サークルを創設したこと、大学のオープンキャンパスのスタッフで統括を務めたことで成長した自分をアピールしました。
SPI対策や履歴書作成など、キャリアセンターの方にもとてもお世話になりました。一つひとつの出会いを大切に、これからも全力で頑張ります。



【内定先】
エスベック 株式会社
海東 拓実さん
現代ビジネス学部
経営学科 4回生
①6回 ②30社 ③15社 ④14社

インターンシップでイメージを明確に 自分と向き合う、 はじめの一步

インターンシップ先

野村證券
株式会社



畑矢 稜太さん

現代ビジネス学部 経営学科 2回生

インターンシップってなに？

インターンシップとは、学生が在学中に自分の専攻・将来の仕事に関連した企業などで一定期間就業体験をすることです。本学では「事前研修」「就業体験」「事後研修」を一つの講座とし、本学が協定を締結している企業、行政、NPO法人、図書館、公共施設等で単位認定型インターンシップを行っています。

自分に必要な力と、 輝ける場所を見つけるために

自分の成長につながる機会に

就活はもちろん、社会人として働くことを視野に入れて、今の自分に必要なものや足りないものを知りたいと思いい、インターンシップに参加しました。野村證券を希望したのは、金融業界に興味があったこと、その中でも最大手の会社を経験することで、大きな成長につながるのではないかと考えたからです。

早い段階で自分自身と向き合えた

今回のインターンシップを終えて、金融業界や証券会社への理解が深まっただけでなく、社会人に必要なマナーなども学ぶことができ、成長を実感しています。これまで私はさまざまな場面でリーダー的な役割を担うことが多く、自身の考えや意見を中心に物事を進めていました。しかし、インターンシップで多くの人との交流を通じて、相手の意見を傾聴し、尊重することの大切さを知りました。まだまだ自分の可能性を追求していきたいので、今後はほかの業界へのインターンシップを考えています。

本格的な就活を前に、早い段階で自分自身と向き合うことができ、とても有意義なインターンシップになりました。就活では、自身の興味ややりがいを軸にして、自分が一番輝ける場所を見つきたいと思っています。

企業担当者コメント

当社のインターンシップの目的は、学生さんに「自立と自律」を養う契機にもらうことです。社員や学生さん同士の交流を通して、他者を思いやりながら、自分の意見を発信できる力を身につけてもらいたいと考えています。そのために、社員懇談会やグループワークを取り入れています。これから就職活動に臨む皆さんには、まずはメディアを通じて日々知識を増やすことをお勧めします。特に金融業は時勢の変化に敏感に感じ取り、対応していかなければならない業界です。常日頃から世の中の動きにアンテナを張っておいて欲しいと思います。また、それら日常で感じた変化や疑問を書き留めることを習慣づけましょう。そうすることで、自分の考えが整理されて、自然と自己分析につながっていきます。



野村證券株式会社
京都支店 法人課
シニアアドバイザー
河合 一郎さん

キャリアメイトが 就活サポート！

学生×学生 で生みだす成長

京都橋大学では、学生がほかの学生の就活を積極的にサポートする取り組みを行っています。ここでは、キャリアメイトの活動について紹介します。

キャリアメイトの活動とは

キャリアメイトは、就活に関する情報を在学生へ提供するために、さまざまな活動を行っています。2019年度は2・3回生5人が、就活をサポートするイベントの企画・運営に取り組んでいます。

11月に行われる学内業界別講演会「キャリアフェア in TACHIBANA」では、キャリアメイトが参加依頼のための企業訪問から、本学学生に向けての広報活動、実施準備、当日の運営まですべてを担います。今年も18社の企業・自治体に参加予定で、企業と学生をつなぐ有意義な場になるよう準備を進めています。また、10月と12月には新企画として、本学の卒業生を招いての「OBOG座談会」を開催。社会人として活躍する先輩たち16人に、仕事のやりがいや苦労をどう乗り越えたか、学生時代に経験しておいたほうが良いことなどを聞ける機会を在学生に提供します。

キャリアメイトは、本格的な就活を前に、ビジネスマナーを身につけることや自己分析が行えるだけでなく、就活イベントの企画・運営のため多種多様な人と関わることで、責任感や職業観を養い、自身の成長につなげることが出来ます。

活動を通して成長を実感！

「自分の意見をしっかりと人に伝えられるようになりたい」「本格的に就活を始める前に自信をつけておきたい」。そんな想いからキャリアメイトに参加しました。ほかのキャリアメイトと協力してイベントの企画や運営を行うなかで、相手の意見を尊重しながら自分の意見を発言できるようになりました。また、電話でのアポイントメントやメールの書き方といったビジネスマナーを学べたこと、何より企業の人事担当者と直接関わる機会が持てたことで、自身の就活も頑張れると思いました。

現代ビジネス学部 経営学科 3回生 田中 嘉野さん



参加依頼のため訪れた企業で



キャリアメイトの集合写真



イベントの打ち合せの様子

吹奏楽部が
京都府吹奏楽コンクールで金賞を受賞



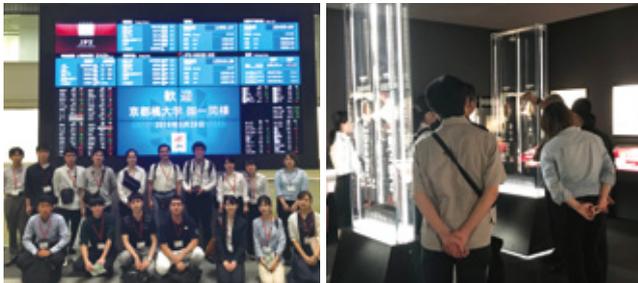
本学吹奏楽部が、8月8日(木)に京都コンサートホールで開催された京都府吹奏楽コンクール大学の部において金賞を受賞しました。課題曲では「春」、自由曲では「交響曲第3番より『第3楽章』『第4楽章』」を演奏しました。同コンクールにおける金賞の受賞は今回で12回目となります。

京焼・清水焼とろうそくの灯りが織りなす、
灯りイベント「七夕陶灯路2019」を開催



7月5日(金)、本学キャンパスで「七夕陶灯路2019」を開催しました。現代ビジネス学部の学生たちが組織する実行委員会が企画から運営までを担い、今年で11回目となります。清水焼の陶器や切り子ガラスにろうそくを浮かべ、キャンパスに並べられ、今年のテーマ「魔法」のようなまさに幻想的な光景となりました。

金融業界について学ぶ
「東京ビジネスツアー」を実施



8月28日(水)から3日間、金融キャリア強化プラン「東京ビジネスツアー」を実施しました。学生15人が参加し、金融業界に関する理解を深めました。ツアーでは、造幣局さいたま支局や東京証券取引所、公益財団法人国際通貨研究所などを訪問しました。プログラムでは、金融業界に精通するビジネスパーソンの講演を聴講するなど、金融業界や会社経営について実情を知る機会となりました。このツアーは、学生たちにとって、今後のキャリアを考える貴重な経験となりました。

学生書道のグランプリ
「全日本高校・大学生書道展」で優秀校を獲得



「第24回全日本高校・大学生書道展」(公益社団法人日本書芸院・読売新聞社主催)で本学は団体賞の優秀校(大学の部)を獲得しました。個人賞では、書道展大賞4点、書道展賞24点、優秀賞32点が選ばれました(応募総数10,402点)。大賞を受賞したのは、文学部日本語日本文学科書道コースに在籍する次の4人です。

【かな部門】新田 潤さん(4回生) 【漢字部門】宮澤 勇美さん(4回生)
【漢字部門】角 宗一郎さん(3回生) 【漢字部門】砂原 大輝さん(3回生)